

多治見高校野球部が岐阜新聞で紹介されました。



秋季東海高校野球大会 県勢紹介

来春の選抜大会の選考資料となる秋季東海地区高校野球大会は22日から、静岡市の草薙球場などで行われる。県勢は初出場の県1位多治見と、2位麗澤瑞浪、17年ぶり7度目の3位美濃加茂の3校が出場する。県勢2年ぶりの選抜出場を目指す

◆ ◆ ◆
 新チーム発足後、公式戦10戦全勝で秋の県の頂点まで駆け上がった多治見。県1位校として初の東海の舞台に臨む。逆転勝ちした2試合を

番	氏名	年	投打	身長	体重	出身
1	河山	2	右右	177	77	中陵
2	地山	2	右左	171	63	北原
3	藤崎	2	右右	174	73	北原
4	熊岡	2	右右	164	58	北原
5	佐藤	2	右右	177	64	北原
6	熊岡	2	右右	170	60	北原
7	小西	2	右右	170	59	北原
8	進藤	2	右左	170	69	北原
9	後藤	2	右右	163	64	北原
10	奥村	2	右右	181	69	北原
11	中里	2	右右	179	74	北原
12	山本	2	右右	165	63	北原
13	前田	2	左左	177	56	北原
14	玉置	1	右右	165	54	北原
15	小池	1	右左	165	55	北原
16	藤井	1	右右	173	68	北原
17	水野	1	右右	170	60	北原
18	今井	1	右右	167	58	北原
19	今井	1	右右	173	56	北原
20	岡高	1	右右	178	75	北原

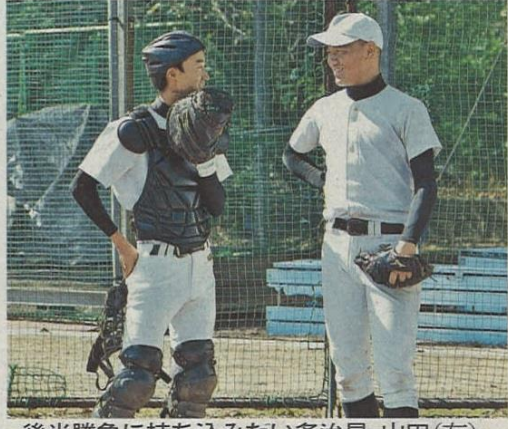
監督 高木丸山
部長 丸山

(番号の白抜きは主将)

公式戦無敗で県V・多治見

◎ 上 ◎

抜群の集中力、後半勝負



後半勝負に持ち込みたい多治見。山田(左)、河地のバッテリーが守備を引っ張る＝多治見高

含み県大会5試合をいずれも中盤まで競り合った展開でものししてきた。「特別なことはないが、最後まで集中力が途切れず、最後まで丹念に突かない」と高木裕一監督も終盤の粘り強さに胸を張る。

投手陣の中心は前チームからのエース河地京太。右横手投げから繰り出す直球は最速130キロながらナチュラルにシュートし、打者のバットの

芯を外す。横手投げには今春転向したが、夏を経てフォームが固まり制球が安定。低めを丹念に突いて凡打の山を築き、全5試合に登板し3完投。「東海でも自分のペースで投げたい」とテンポの良さを心掛ける。

県大会決勝で麗澤瑞浪のサブマリン伊藤智紀を打ち込んだ打線は一回の先頭が1番打者「の意識でどの打順からでも

得点を狙う。中心は強肩捕手で1番の山田智也、長打力のある主将の4番佐藤昂気。3番加藤輝も復調の兆しを見せている。今夏の初戦敗退以降、大会直前までメンバリーを入れ替え、競争意識を培って戦力の底上げを図ってきた。「誰もが結果を出そうと一打席一打席を無駄にしない気持ちで終盤の粘り強さにつながっている」と高木監督。

グラウンドを他の部と兼用するため硬球を打つことができず、テニスボールやバドミントンの羽根を使って打撃練習を行うなど限られた環境のなかで工夫した練習メニューで優勝をつかんだ。「厳しい環境で力をつけてきた自負はある。競って競って粘り勝負野球を見せたい」と佐藤主将。快進撃の続きを東海でも見せ、初の甲子園出場を狙う。(宮西正仁)

「岐阜新聞(朝刊)平成28年10月18日付掲載」
 (この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています)